

令和 8 年度第 3 回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和 8 年 7 月 1 3 日（月） 午後 3 時 3 0 分～午後 5 時 0 5 分
- 2 場 所 岡山市役所議会棟 3 階 第 1 会議室
- 3 出席委員 今中委員、小倉委員、桐岡委員、田村委員、長坂委員、中塚委員、水ノ上委員、山本委員
- 4 出席職員
（市民協働局）江口部長
（女性が輝くまちづくり推進課）大下課長、敷田担当課長、川上補佐、松浦主査
- 5 傍 聴 者 1 人
- 6 次 第
（開会）
（1）議事
 - ① 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第 1 9 条第 2 項の審査適用について
 - ② 第 6 次さんかくプランの策定について
 - ③ その他
- 7 配付資料
 - 資料 1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第 1 9 条第 2 項の適用に係る審査票【岡山市アリーナ整備運営事業 PFI 事業者選定委員会】
 - 資料 1－参考 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例（抜粋）ほか
 - 資料 2 第 6 次さんかくプラン体系について第 2 回委員会での意見の対応状況
 - 資料 3 第 6 次さんかくプラン骨子（案）
- 8 会議の状況
（1）議事
 - 議事①** 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第 1 9 条第 2 項の審査適用について【岡山市アリーナ整備運営事業 PFI 事業者選定委員会】

○説明内容（資料 1 について）
 - 資料 1－1 についてスポーツ振興課から説明
 - ・岡山市アリーナ整備運営事業 PFI 事業者選定委員会について説明
 - ・委員会は最大で 9 名の構成となり、予定では令和 8 年 7 月に 8 名の委員を委嘱する計画だが、現在の候補は全員男性。委員会は令和 10 年 3 月まで活動し、その後解散予定。次期委員の選任はない
 - ・PFI 事業では「BT+セッション方式」を採用予定。この方式は民間主導で設計、施工、運営を行うものであり、岡山市では初採用となり、人選が難しく高度な専門性が求められる
 - ・委員会のメンバー選定については、市長、経済界、トップスポーツチーム等から組織される「アリーナ整備検討会議」において、「先行事例の乏しいアリーナ整備運営事業については、適切に調査・審議を行うための知識と経験を有する方を委員として選任することが望ましい」という意見を踏まえ、各分野から過去に選定委員等の経験の

ある方を中心に市が選任しており、団体等が推薦した充て職はない

- これまでの選任過程において女性の適任者が見つからず、女性を選任することができなかった
- 各専門分野において、県内に適任者がいない分野は県外からの選任とした
- 行政が入ると行政の意図が出過ぎるため、第三者的な議論、検討をするために、他都市では行政から委員を入れてない委員会もあるが、当課としては、詳しい職員が入るべきとして一番詳しい行政職員を 1 名加えている

○主な意見

- これまでも同条例に関する審査はあったが、（女性が）ゼロはなかったため、飲み込みづらい
- 新しい分野で専門性からみても男性しかいないということで理解したが、市の女性職員を育成の観点も含めて追加は可能か
- 県外から委員を連れてこないと集まらないような専門領域であるということであれば、男性だけであっても仕方がないのかと思う
- 今後同様な案件の委員会を設置することがあれば、女性を選任できるようどのような対応ができるか検討していく必要がある

○審査結果

- 賛成多数でやむを得ない事情があると認める。

議事② 第 6 次さんかくプランの策定について

○説明内容（資料 2 について）

■第 6 次さんかくプラン体系について第 2 回委員会での意見の対応状況

事務局から説明

前回示した体系案での意見を受け、手入れしたところを説明

前回プランの課題で施策の方向性に反映できないものは、その下の、具体的な施策や、主な事業に反映する

○主な意見

（全体について）

- 第 6 次プランの目玉に「理解から行動に移る」とするのはどうか

（基本目標 2 アンコンシャス・バイアスの気づきの促進と固定的な性別役割分担意識の解消）

- 「固定的な性別役割分担意識の解消」は、意識だけではなくて、その現実の解消にも踏み込むのはどうか。例えば意識を取って「性別役割分担の解消」とするのはどうか
- 「分担」を残すとすでに分けているため、「性別役割の解消」とするのはどうか

○説明内容（資料 3 について）

■第 6 次さんかくプラン骨子（案）

事務局から説明

骨子（案）は計画の方向性、枠組みとして示したもの、今後検討が進み出てくる意見については、素案に反映していきたい

施策の方向性に具体的な施策等を加えて、できれば、次回の委員会で整理ができている主な事業までをお示しする

次回委員会では、第 5 次プランの課題、意見も参考とした、成果指標と取組指標の案もお示ししたい

○主な意見

(第1章 4 社会情勢等の変化(5) 男女の賃金格差)

- ・ 「男女間の賃金格差」ではなく「性別による賃金格差」と書いてもよいかと思う
元々女性が低い、トランスジェンダー女性はシスジェンダー女性（「身体の性」と「心の性（性自認）」が一致している女性）よりも賃金が低くなってしまいうこともあ
るため、その辺りも含めた表現にした方がいい

(第1章 5 成果と課題)

市民に岡山市の状況を見えるようにするため、2020年に始めた岡山市パートナーシップ制度の宣誓数がまだ40何組ぐらいにとどまっていることを課題に追加してはどうか

(第2章 2 計画の体系)

- ・ 総花的にならないために、この第6次の目玉というか、重点的な課題を乗せるのはどうか
- ・ 市民に共有できるものとして目玉を考えるのはいい
- ・ サマリーとか、TOPIXとか、要点があると、何らか発信されるときに、それを見てもらえると思う。非常に賛成
- ・ 意識じゃなくて大きな実効性があるものがあるなら、積み残している課題が解決できと思う、今回の計画ではここに力入れますよと入れるのは大賛成
- ・ 重点的な課題として、理解だけではなくて行動化および孤立・孤独・DV、経済的な不安など様々な困難を抱える女性の課題があるため、強化して対応するにあたり体系を5番と6番を入れ替えたなど記載するのはどうか

(第2章 3 成果指標及び取組指標)

- ・ 性的マイノリティの方の課題は、数値として出づらいため、指標として盛り込むのか難しいのかもしれないが、視点としては持ち、まさに計画の柱、性別等に関わらずのところにも繋がるため、プランに反映できるところはしていきたい
- ・ 性的マイノリティの方が抱える課題は、既存の調査で把握できないのであれば市として独自に調査することも検討すべきではないか
- ・ 野心的な指標にしてほしい
- ・ 取組指標と成果指標が別のもので良くない。取組指標を実現していくことによって、成果指標に改善が見られるものであるべき。繋がりはぜひ意識してほしい

(全体を通して)

- ・ 市では、教育、保育、学校現場においては性暴力に関して、根絶を目指しているところを打ち出してほしい
- ・ 市民に岡山市の状況を見えるようにするため実態をよく反映させる仕組み、目標を立てないといけない
- ・ 女性、男性、その枠にとどまらない方、あるいは戸籍とは違う性別で生きていきたい方達も含めた表現にしていきたい
- ・ 理解を深めるところにとどまっているので、実効性があるものを入れて欲しい
- ・ （実効性がある指標など）入れるところがないと始まらないため、例えば、賃金格差をなくすとか、パートナーシップ制度の宣誓数が上がるとか

議事③ その他

次回会議について